

令和6年度 決算事業報告書



議会事務局



款	1	議会費	項	1	議会費	目	1	議会費	会計名	一般会計
事業名		1	議員報酬等						所属名	議会事務局
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)		南部町議会議員					総合計画における位置づけ		
	意図 (対象をどうするか)		地方公共団体の意思決定機関としての権限を有し、住民自治の発展に寄与する					①開かれた町政と自治協働の推進		
	成果の視点 (どのような効果があるか)		・南部町議会議員として法令に定める議員活動を行う。 ・住民の代表として、「具体的な政策の最終決定」と「行財政運営の批判と監視」が議員の職責であり、その使命を達成する。					「五つの挑戦」から見た位置づけ		
								⑤行財政改革		
								根拠法令・要綱等		
前年度比較		令和5年度決算額	令和6年度決算額	差引	増減	地方自治法 南部町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例				
		63,371,280 円	66,280,626 円	2,909,346 円	4.6 %					
		令和5年度予算額	令和6年度予算額	差引	増減					
		63,372 千円	66,971 千円	3,599 千円	5.7 %					
【事業内容】 町議会議員の活動全般（定例会、臨時会、全員協議会、各委員会等）に対する報酬等 ○議員定数 14人 ○年間活動報酬等 ①報酬 月額3,417千円×12月＝41,004千円 （月額14人） 議長 323千円 副議長 249千円 常任委員長 240千円×4人＝ 960千円 議運委員長 240千円 議員 235千円×7人＝1,645千円 合計 3,417千円 ②期末手当 議員報酬（月額）3,417千円×加算120÷100 ×（6月期170＋12月期170）÷100≒13,942千円 ③共済組合負担金 ・事務費負担金 議員数14人×基準額15,000円＝210千円 ・給付費負担金 議員数14人×標準報酬月額240千円×12月 ×負担金率29.3／100≒11,814千円 【決算の状況】 （計画） 定例会4回/年 <										

款	1	議会費	項	1	議会費	目	1	議会費	会計名	一般会計
事業名		3	議員研修事業						所属名	議会事務局
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)		南部町議会議員					総合計画における位置づけ		
	意図 (対象をどうするか)		政策形成能力や様々な課題に対応するため先進地を調査研究し、今後の取り組みに資する					①開かれた町政と自治協働の推進		
	成果の視点 (どのような効果があるか)		行政調査で先例事例等を学ぶことにより、質疑及び一般質問を通して議会議員から町政へ効果的な提言を行う					「五つの挑戦」から見た位置づけ		
								⑤行財政改革		
								根拠法令・要綱等		
前年度比較		令和5年度決算額	令和6年度決算額	差引	増減	令和6年度 執行率		南部町議会基本条例 南部町議会会議規則		
		883,170 円	384,450 円	△ 498,720 円	△ 56.5 %					
		令和5年度予算額	令和6年度予算額	差引	増減					
		1,628 千円	1,373 千円	△ 255 千円	△ 15.7 %					
【事業内容】										
(1) 行政調査 各委員会等による先進地への行政調査を行い、町政への施策提言につなげる。										
(2) 議員派遣研修 政策形成能力や行政チェック能力の向上を図る。										
【決算の状況】										
(計画)										
(1) 行政調査										
・ 地方行政調査										
地方行政調査特別委員会 1回										
(委員14人+事務局1人)										
・ 視察研修										
総務経済常任委員会 1回 (委員7人)										
民生教育常任委員会 1回 (委員7人)										
(2) 議員派遣研修										
・ 全国研修										
広報常任委員会 1回 (委員2人)										
・ その他										
全国市町村国際文化研修所 (滋賀県JIAM) 4人各1回										
(実績)										
①成果実績または活動実績										
(1) 行政調査										
・ 地方行政調査										
7/16 (火) ~17 (水) 鳥取市~真庭市										
(委員14人+事務局1人)										
・ 視察研修										
※総務経済常任委員会 0回 (未実施)										
※民生教育常任委員会 0回 (未実施)										
(2) 議員派遣研修										
・ 全国研修										
※広報常任委員会 0回 (議会日程と重なり不参加)										
・ その他										
※全国市町村国際文化研修所 (滋賀県JIAM) 1人1回										
②成果または活動の問題点										
※各常任委員会による視察研修は連年で実績なし										
※全国市町村国際文化研修所の研修は参加減少傾向。										
R3年度1人1回										
R4年度2人3回										
R5年度1人1回										
(歳入内訳 単位:円)					(歳出内訳 単位:円)					
款-項-目-節	科目名称			前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額		
						8 旅費	817,770	373,450		
						18 負担金補助及び交付金	65,400	11,000		
	一般財源			883,170	384,450					
	計			883,170	384,450	計	883,170	384,450		
今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容		地方行政調査は毎年実施されているが、近隣議会では隔年で実施されているため、必要性を再点検するなど見直しが必要。							
	②次年度へ向けた次への行動・具体策									
	達成できた点をさらに伸ばす方策		各常任委員会による視察研修は連年で実施実績がないため、令和7年度は予算減額を行った。(1委員会100千円→50千円) 地方行政調査と隔年で実施するなど、引き続きの検討が必要。							
	解決すべき課題への方策		国市町村国際文化研修所の研修は、年々、参加減少が続いているため、実績にあわせ予算化を行う。							

款	1	議会費	項	1	議会費	目	1	議会費	会計名	一般会計
事業名		4	議会広報(議会だより)事業						所属名	議会事務局
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)		南部町民等					総合計画における位置づけ		
	意図 (対象をどうするか)		議会広報による情報発信を通じて、行政・議会・町民との情報共有化を図る					①開かれた町政と自治協働の推進		
	成果の視点 (どのような効果があるか)		議会だよりQRコードや町ホームページURL等を通じて議会 유튜브(一般質問ほか)の視聴回数を伸ばす					「五つの挑戦」から見た位置づけ		
								⑤行財政改革		
								根拠法令・要綱等		
前年度比較		令和5年度決算額	令和6年度決算額	差引		増減		令和6年度執行率		90.22 %
		896,500 円	1,070,960 円	174,460 円		19.5 %				
		令和5年度予算額	令和6年度予算額	差引		増減				
		1,112 千円	1,187 千円	75 千円		6.7 %				
【事業内容】 議会活動の情報提供として「議会だより」を発行する。 ○回数・・・年4回(定例会毎) ○時期・・・各定例会の2か月後 (発行部数) 3, 300部×年4回=13, 2000部 (号当り部数) 町内各戸 3, 026部 〃 (個別) 160部 地域振興協議会 9部 保存用(永久) 5部 〃 (予備) 10部 その他予備 64部 議員控室 1部 県議長会 20部 県立図書館 3部 国会図書館 2部 【決算の状況】 (計画) (実績) ①成果実績または活動実績 第79号 表裏2頁4色 他18頁スミ 全20頁 第79号 表裏2頁4色 他18頁スミ 全20頁 第80号 表裏2頁4色 他14頁2色 全16頁 第80号 表裏2頁4色 他16頁スミ 全18頁 第81号 表裏2頁4色 他18頁スミ 全20頁 第81号 表裏2頁4色 他16頁スミ 全18頁 第82号 表裏2頁4色 他14頁2色 全16頁 第82号 表裏2頁4色 他16頁スミ 全18頁 第82号 お詫び 2頁スミ ホーム > 南部町議会 > 議会だより https://www.town.nanbu.tottori.jp/admin/gikai/1/ 発行部数を精査し、3, 800部/回を令和5年度から3, 300部/回へ変更。 △500部の内、約150部はLINE配信による削減効果。 ②成果または活動の問題点 令和4年5月にYouTube議会チャンネルを登録し議会だより二次元コードから一般質問の動画公開を行っているが視聴回数は伸びていない。 (歳入内訳 単位:円) (歳出内訳 単位:円)										
款-項-目-節	科 目 名 称			前年度決算額	本年度決算額	節		前年度決算額	本年度決算額	
						10 需用費		896,500	1,070,960	
	一般財源			896,500	1,070,960					
	計			896,500	1,070,960	計		896,500	1,070,960	
今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容		令和5年10月から議会運営支援情報通信機器(タブレット)が導入され、令和6年12月からペーパーレス化が本格運用となった。事務の効率化・省力化、環境負荷軽減などを目的に議会だよりも含め更にペーパーレス化に取り組む。							
	②次年度へ向けた次への行動・具体策									
	達成できた点をさらに伸ばす方策		人口減少にあって、発行部数は毎年度の精査を続ける。							
	解決すべき課題への方策		YouTube議会チャンネルについて、先進事例等を参考に、「読む」から「見る=魅せる」へ議会広報の改革を行い視聴回数を伸ばす。							

款	1	議会費	項	1	議会費	目	1	議会費	会計名	一般会計
事業名		5	議長交際費						所属名	議会事務局
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)		町議会を代表する議長等					総合計画における位置づけ		
	意図 (対象をどうするか)		社会通念上、妥当な範囲内で対外的な活動を行う					①開かれた町政と自治協働の推進		
	成果の視点 (どのような効果があるか)		目的が宗教的意味合いを持つ各種集会、式典等及び政党その他の政治団体又はその支部に対するものは対象としない					「五つの挑戦」から見た位置づけ		
								⑤行財政改革		
								根拠法令・要綱等		
前年度比較		令和5年度決算額	令和6年度決算額	差引	増減	令和6年度執行率		92.53 %		
		53,350 円	69,400 円	16,050 円	30.1 %					
		令和5年度予算額	令和6年度予算額	差引	増減					
		150 千円	75 千円	△ 75 千円	△ 50.0 %					
【事業内容】 議長等が町議会を代表して、対外的な活動を行う。 ○香料等 香典、生花 ○会費 各種総会、式典、行事等 ○その他 土産代、来賓等茶菓代、その他議長が特に認めたもの 【決算の状況】 (計画) (実績) ①成果実績または活動実績 ○香料等 5千円／件×5件＝25千円 ○会費・その他 10千円／件×5件＝50千円 ①成果実績または活動実績 ○香料等 ・香典 5,000円／件×2件＝10,000円 ・生花 16,500円／件×2件＝33,000円 ○会費・その他 ・清 酒 4,800円／件×1件＝4,800円（商工会新年互礼会） ・手土産 6,600円／件×1件＝6,600円（地方行政調査） ・広告料 5,000円／件×1件＝5,000円（肢体不自由児者父母大会） ・御 樽 5,000円／件×2件＝10,000円（河畔倶楽部花見会） (職員の会新年会) ②成果または活動の問題点 会費・その他について、内規に明記されていない。										
(歳入内訳 単位:円)					(歳出内訳 単位:円)					
款-項-目-節	科 目 名 称			前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額		
						9 交際費	53,350	69,400		
	一般財源			53,350	69,400					
	計			53,350	69,400	計	53,350	69,400		
今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容		渉外的な義務的経費であるため、前年度と同額で予算化され易い。予算要求にあたっては、過年度の実績を精査した上で必要額を予算化する。							
	②次年度へ向けた次への行動・具体策									
	達成できた点をさらに伸ばす方策		会費・その他は内規がないため、過去の実例から議長判断により支出している。香料等と同様に内規とすることが必要である。							
	解決すべき課題への方策		物価高騰による実勢価格での支出が予測されるため、内規へ委任事項を追加するなど検討が必要。							

款	1	議会費	項	1	議会費	目	1	議会費	会計名	一般会計
事業名		6	議会運営費						所属名	議会事務局
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)		南部町議会					総合計画における位置づけ		
	意図 (対象をどうするか)		円滑な議会運営を図る					①開かれた町政と自治協働の推進		
	成果の視点 (どのような効果があるか)		タブレット導入によるペーパーレス化を加速させて取り組む					「五つの挑戦」から見た位置づけ		
								⑤行財政改革		
								根拠法令・要綱等		
前年度比較		令和5年度決算額	令和6年度決算額	差引	増減	令和6年度執行率		89.19	%	
		7,162,521 円	7,910,374 円	747,853 円	10.4					%
		令和5年度予算額	令和6年度予算額	差引	増減					
		8,120 千円	8,869 千円	749 千円	9.2					%
(8,866,710)										
【事業内容】 円滑な議会運営に必要な事務的経費										
【決算の状況】										
(計画) (実績) ①成果実績または活動実績										
細節		予算額 (千円)	決算額 (円)	内 容						
普通旅費		17	12,476	中国横断新幹線（伯備新幹線）整備推進会議総会5月 3,552円 日本海政経懇話会8,12月 4,524円 ねんりんピック10月 4,400円						
消耗品費		328	327,499	書籍（議員必携他）9,630円 事務用品代（ゴム印ほか）25,812円 追録（事務提要他）255,530円 「地方議会人」購読料9,972円 コピー代20,037円 議会タブレット用アクセサリ6,518円						
燃料費		33	32,227	公用車ガソリン代						
通信運搬費		18	17,484	郵便						
その他の委託料		2,896	2,176,350	議会会議録調整業務（ぎじろくセンター） ※前年比△57,948円						
借上料		1,630	1,628,968	議会タブレット18台×12カ月 1,095,468円 Side Books本棚 1GB×7カ月＝231,000円 6GB×5カ月＝302,500円						
使用料		1,188	1,188,000	会議録作成システム（AmiVoice）						
その他の負担金		2,759	2,527,370	西部町村議会議長会862,400円 町村議会議長会1,366,400円 町村議会正副議長研修125,600円 町村議会議長全国大会39,620円 西部議長会行政調査78,350円 日本海政経懇話会年会費55,000円						
計		8,869	7,910,374							
(8,866,710)										
○議会タブレット及びSide Books R5年10月導入										
○試行期間（R5.10.1～R6.11.30）ペーパーレス効果										
議会タブレット18台分										
・紙資源削減枚数 151,488枚 ・印刷費用 757,440円										
・C02排出量 918.74kg										
○本運用（R6.12.1～R7.3.31）ペーパーレス効果										
議会タブレット18台分										
・紙資源削減枚数 72,807枚 ・印刷費用 364,035円										
・C02排出量 441.55kg										
②成果または活動の問題点 ○会議録作成システム（AmiVoice）の利活用が図られていない。										
(歳入内訳 単位:円) (歳出内訳 単位:円)										
款-項-目-節	科 目 名 称			前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額		
						8 旅費	12,580	12,476		
						10 需用費	367,709	359,726		
						11 役務費	20,385	17,484		
						12 委託料	2,234,298	2,176,350		
						13 使用料及び賃借料	2,076,734	2,816,968		
						18 負担金補助及び交付金	2,450,815	2,527,370		
	一般財源			7,162,521	7,910,374					
	計			7,162,521	7,910,374	計	7,162,521	7,910,374		
今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容		議会運営支援情報通信機器（タブレット）によるペーパーレス化が令和6年12月定例会から本格運用となった。今後は更に効果を上げるため、執行部側の活用を促していく。							
	②次年度へ向けた次への行動・具体策									
	達成できた点をさらに伸ばす方策		議会内等のコミュニケーションツールとしてラインワークス（無料版）を令和6年5月から導入した。幅広いペーパーレス化の実現、紙から電子となり労力の大きな省力化などの仕組みが整った。今後は、便利な機能を活用して議会活動に取り組んでいただく必要がある。							
	解決すべき課題への方策		会議録作成システム（AmiVoice）について、利用実態を調査し必要性を検討する。							

款	2	総務費	項	6	監査委員費	目	1	監査委員費	会計名	一般会計
事業名		1-2	監査委員事務費						所属名	議会事務局
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)		南部町監査委員					総合計画における位置づけ		
	意図 (対象をどうするか)		適切に監査実施する					①開かれた町政と自治協働の推進		
	成果の視点 (どのような効果があるか)		タブレット導入による事務負担の軽減とペーパーレス化のよる環境 負荷の軽減					「五つの挑戦」から見た位置づけ		
								⑤行財政改革		
								根拠法令・要綱等		
							地方自治法			
前年度 比較	令和5年度決算額		令和6年度決算額	差引		増減				
	182,479 円		274,620 円	92,141 円		50.5 %				
	令和5年度予算額		令和6年度予算額	差引		増減		令和6年度 執行率		
	356 千円		435 千円	79 千円		22.2 %		63.13	%	
【事業内容】 適切な監査実施に必要な事務的経費										
【決算の状況】										
(計画) (実績)										
①成果実績または活動実績										
細 節		予算額 (千円)	決算額 (円)	内 容						
普通旅費		273	131,120	監査委員全国研修会（識見1, 議選1, 局長1） ※航空券早割ほか						
消耗品費		10	0	※ペーパーレス化による						
燃料費		8	0	※電気自動車の使用による						
その他の負担金		144	143,500	町村監査委員協議会分担金130,000円 全国研修会負担金13,500円						
計		435	274,620							
②成果または活動の問題点 内部統制機能が働いていないと判断される事例が散見されている。										
(歳入内訳 単位:円) (歳出内訳 単位:円)										
款-項-目-節		科 目 名 称		前年度決算額	本年度決算額	節		前年度決算額	本年度決算額	
						8 旅費		94,560	131,120	
						10 需用費		27,919	0	
						18 負担金補助及び交付金		60,000	143,500	
		一般財源		182,479	274,620					
		計		182,479	274,620	計		182,479	274,620	
今後 に 向 け て	①今後の事業全体の 方向性とその内容		鳥取県監査委員協議会定期総会において、①監査機能の充実と体制の強化②監査活動費の確保と報酬 の改善③各種研修会参加の予算措置が継続して決議されている。この決議に沿った監査となるよう取 り組む。							
	②次年度へ向けた次への行動・具体策									
	達成できた点をさら に伸ばす方策		事務処理のDX（デジタルトランスフォーメーション）が、事務局員の事務の省力化につながれば、 事務監査が行える時間が確保出来るようになるため、監査体制の強化につながるものと期待される。							
	解決すべき課題へ の方策		監査体制の強化として、事務局職員による事務監査を行った上で監査委員による本監査を実施してい る。今後も継続し体制の強化を図る。							